

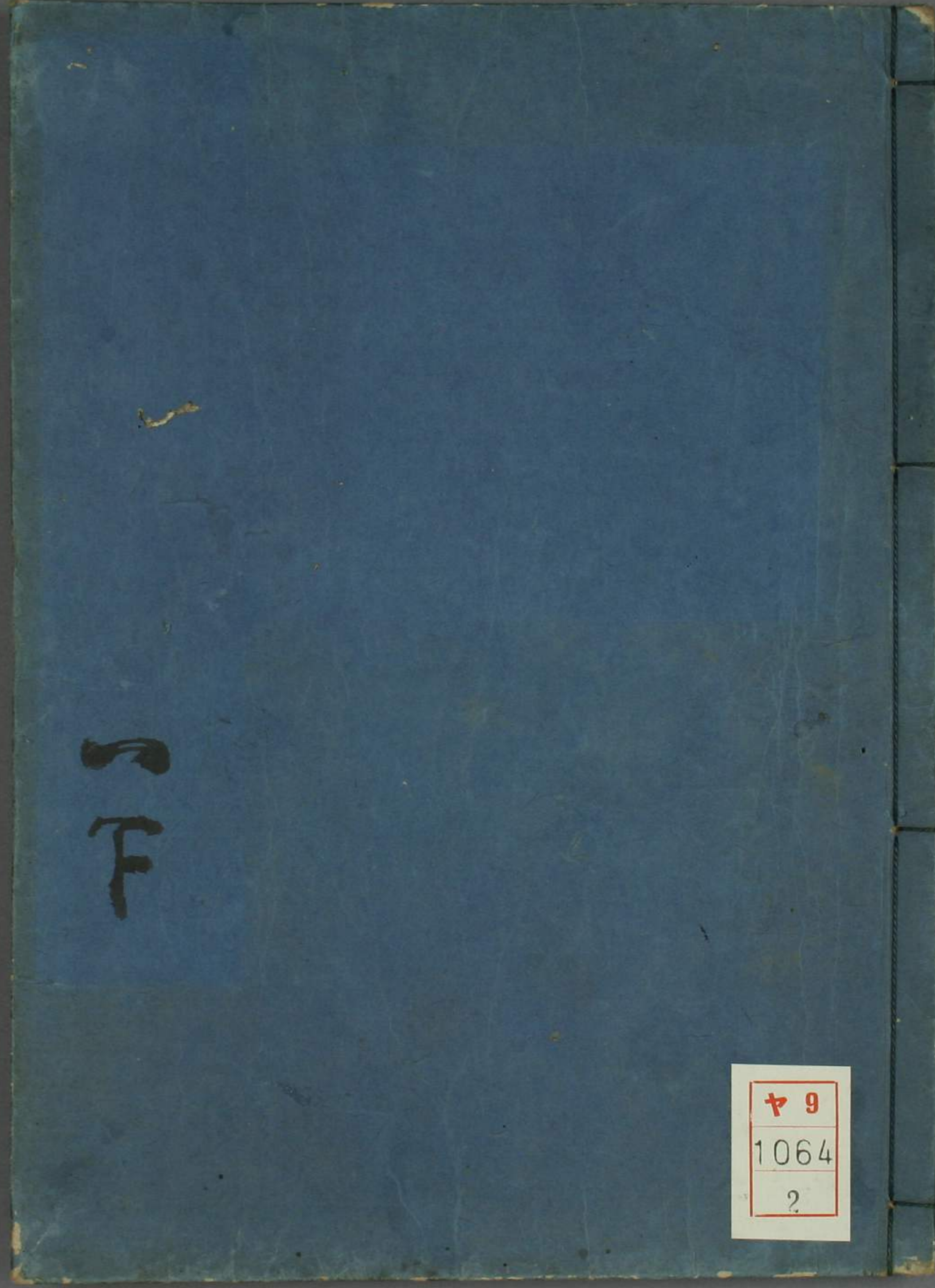
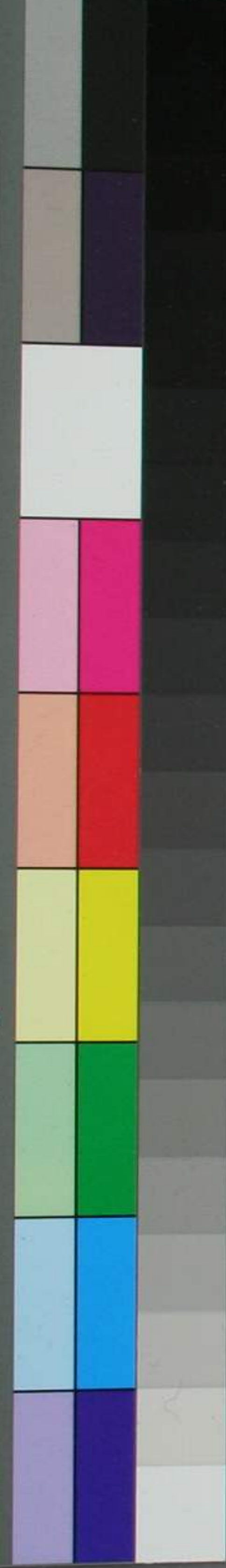
KODAK
LICENSED PRODUCT

M

Y

C

KODAK Gray Scale



| |
|------|
| 9 4 |
| 1064 |
| 2 |



79
1064
2

普救類方卷之一下



口舌之部

口舌瘡

口舌瘡の部

黄連を焙じて粉とて瘡に傅之

姜を粉とて瘡に傅之

又方細辛黄連等分粉ふ

瘡に傅之

又方生姜の末をりけりて瘡に傅之

得効方

又方五倍子の粉を口瘡にありて

又方黄蘗根皮をけりて細ふ

林良適
丹羽正伯

纂輯



91-1810

くそけをみくそてうー 腎脚の中盤ー 陰をまらるは
右の葉一盃やどのー 同

又方甘草白礬を粉うー 昂にありてうー 同

口中に抽出をくそてうー 煎るに

附子の粉と白朮粉を研うー 移り足の内ー 研うー 男
は女うー 足の長一匙ー 煎るに

又方天門冬麦門冬心気散を粉うー 密して移り
枇杷の核の大きに丸うー 口中ふくんで俵うー 吞下をうー 同

口中は物お米痛ありん

五味子一匁石五厘黄蘗五分密にかきませ炒り粉うー 傳
べー 久くくろるに金く飲合すべー 東妙方

口中は物お米咽まどふさぐり

黄連の粉十匁蜜猪脂百五厘づー 入煮うー つけ膏うー 專

つねづつ吞うー 口にみぬやど用とてうー 本草綱目

小児尿に抽出をくそてうー

天南星を粉うー 研うー 肺の心に貼てうー 衛生易簡方

又方黄連を粉うー 密して丸うー 煎るに

又方桑白皮の中れ白きけ紙をり昂に付くうー 同

又方鐵の赤錆紙こそげりありてを付てうー 本草綱目

又方款冬を粉うー 唾あり移る餅のうー 先

蛇は子の黄湯うー 口を漱うー 後これ餅を陰の上にかうー

けきくべー 同

口舌の癢をれうー

薔薇根灰水うー 飲んて吐出すべー 冬は粉の

皮は用仲夏は枝並うー 煎るに

又方生姜汁を煮りてうー 吞下をうー 吐く

方々くあつてより同

又方蘿蔔の汁を煮たりとりてとりに果合々煮過七飲
涎を吐く〜とを〜同

又方蘘荷の根をゆひて汁を煮たりと〜とを酒に合々煮
〜と〜同

又方大豆白蒸豆を粉う〜岸につけ涎を吐て金〜同

口中物出来舌〜とを煮〜とを割〜とを砕〜とを

西瓜の水を傳〜とを〜とを西瓜の皮をやき灰〜とを

〜治法彙

又方芙蓉根を煮〜とを〜とを〜得効方

又方白礬の粉を煮〜とを〜とを〜同

又方又倍子炒芙蓉葉を粉〜とを〜とを〜同

口糜

口中并に舌を上げて飲食すりと〜とを〜とを

柴胡と枸杞の根とを煮〜とを〜とを〜とを〜本草綱目

又方乾葛と〜とを煎明呉茱萸を同〜とを粉〜とを新粉小攪まぜ醋

〜とを〜とを〜とを〜同

又方好墨樓結を粉〜とを口中に付〜とを〜治法彙

酒後多〜とを〜とを口中糜〜とを〜

田螺灰を煮〜とを〜とを〜とを〜本草綱目

口臭

口中を〜とを

甜瓜の仁を粉〜とを蜜〜とを粉り丸〜とを每朝只水〜とを

す〜とを乃丸茶一粒合〜とを〜本草綱目

又方白芷を粉〜とを合後〜とを〜とを〜同

又方香薷根水〜とを〜とを〜とを〜同

又方白礬（白礬）小蘇香少（蘇香）のれ研（研）をせ牙（牙）を擦（擦）ぬりて（ぬり）〜同
又方細辛（細辛）故（故）あま（あま）して（して）使（使）使（使）ト（ト）を（を）け（け）を（を）〜同
衛生易簡方
煎（煎）を食（食）して口鼻（口鼻）〜

砂糖（砂糖）液（液）合（合）て（て）〜 本草綱目

齒（齒）ら（ら）と（と）や（や）ぶ（ぶ）れ（れ）口（口）中（中）〜

川芎（川芎）を水（水）と（と）煮（煮）ト（ト）〜

虫歯（虫歯）あり（あり）〜口（口）中（中）〜

苦瓠（苦瓠）子（子）瓜（瓜）粉（粉）〜 蜜（蜜）と（と）移（移）り（り）枇杷（枇杷）の核（核）の（の）大（大）と（と）丸（丸）ト（ト）毎（毎）日（日）水（水）

〜して（して）口（口）中（中）〜 一丸（一丸）〜

吐（吐）あ（あ）す（す）〜 同

舌腫（舌腫）

舌後（舌後）〜

蓋麟墨（蓋麟墨）を醋（醋）と（と）〜 舌（舌）の（の）上（上）下（下）に（に）敷（敷）く（く）傅（傅）〜 衛生易簡方

本草綱目

又方蒲黃（蒲黃）紙（紙）ぬり（ぬり）〜 暴證知要

又方砂糖（砂糖）液（液）醋（醋）と（と）〜 千金簡易方

又方縮砂（縮砂）を火（火）と（と）〜 衛生易簡方

又方乳髮（乳髮）を（を）〜 衛生易簡方

舌腫（舌腫）と（と）宗脈（宗脈）〜 衛生易簡方

蓖麻子（蓖麻子）と（と）字（字）子（子）粒（粒）す（す）〜 衛生易簡方

〜 衛生易簡方

又方甘草（甘草）液（液）〜 衛生易簡方

又方〜 衛生易簡方

又方〜 衛生易簡方

又方〜 衛生易簡方

又方〜 衛生易簡方

救急易方

又方獅の肉をとり舌に貼る一黄皮も貼る一同

舌腫一同一本草綱目

小児舌は細かりし物も来推る一同

桑白皮を搗け灰をわりとる一黄皮も舌に傳一傳信元易方

又方白芍薬結一同一醋一同一小児の足一同一塗

本草綱目

木舌

木舌ハ舌こりり腫る木のこりなりはふらしたるに

赤も葉甘草一同一黄皮も貼る一同一本草綱目

又方砂糖一同一黄皮も貼る一同一同

又方白僵蚕一同一舌につけ灰を吐出一同一同

又方白朮一同一黄皮も貼る一同一同

又方白朮桂心一同一舌の下に貼る一同一同

小児の本舌

鯉魚の肉一同一腫る一同一同

又方蛇脱一同一黄皮も貼る一同一同

重舌

重舌ハ舌の根より少き舌のどり肉出一同一同

蒲黄の粉一同一黄皮も貼る一同一本草綱目

又方鹿角液一同一付一同一同

又方桑根一同一皮を水に煮て一同一乳一同一同

又方一同一同一同

又方書竹一同一灰一同一同一黄皮をひ一同

又方一同一同

又方百草一同一粉一同一同一衛生易簡方

又方烏賊骨一同一焼一同一同一同

舌を死かんとするに

私髪を焼灰ふしとみち小舌不傳とす本草綱目

又方竹瀝を焙燥灰に付とす同

舌縮

卒に舌をまうて口つとむ

生艾を搗き舌に付べし或は乾したる艾灰をたひて

かす本草綱目

唇吻之部

冬唇を凍りて唇裂くるに

生油を塗る本草綱目

又方猪脂を毎日塗るとす同

又方猪脂を煎して西府に付べし本草綱目

出まのころか衛生易簡方

換りて唇がひきは裂くるに

桃仁をすりつぶし猪の脂をこき付とす本草綱目

唇の瘡をまうるに

八月は藍の葉灰を搗きけをまわり瘡のふしとす本草綱目

瘡のふし同

又方灰の垢灰を付とす千金簡易方

又方胡粉を付とす同

又方猪屎の灰を粉にし縮よつて唇に付とす同

又方五月五日に鹽を灰とす本草綱目

付べし本草綱目

唇腫るに

葱白仁防己赤小豆炒甘草炙して湯で飲べし得効方

又方桑本の皮の屑にわけをすり胡粉を搗中を塗るは

小児唇の腫れに 本草綱目

紫脛八層をきけりてんじり

馬齒莧をみみりて搗りてあはひにすり同

又方龍甲并龍頭を焼研し粉ふり付る同

又方蟻粘をきき灰に付る同

又方松脂灰をきき灰に付て懸る同

又方蛇皮灰をきき灰に付る同 千金簡易方

又方火を焼くをきき灰に付る同

口吻に瘡をきき灰に付る

飛甲をきき灰に付る 本草綱目

又方吳茱萸を粉りて研めてきき灰の心小ぬり同

又方蘇根灰をきき灰に付る同

又方楸榔一ツ中を灰に細くすり付る 得効方

又方乳髮焼灰を搗き焼灰に黄連粉に乾姜粉

小児口吻に瘡をきき灰に付る 千金簡易方

小児口吻に瘡をきき灰に付る

唇腫を粉りて一匁酒にそそぎてぬりては 本草綱目

又方乳髮をきき灰に猪脂をきき塗る同

又方黄連黄蘗黄丹粉に竹瀝をすり付る同

牙齒之部

牙齒痛

牙齒痛

香附子艾葉を灰に焼くは 本草綱目

粉をぬりて患處にすり 本草綱目

又方大蒜を搗灰の内小いき炮し熱し一さ里を切らして
瘰癧を封じべし同

又方黑豆をゆして炙りてすくべし同

又方古積生薑焙り白朮の粉をいじ研との歯に搗ぬり
すくべし同

又方白朮焼灰し一焙房からく炙りて水まで炙り
六七度洗滌し一合を煎じべし冷れを吐くまじく炙り

すくべし同 衛生易簡方

又方胡椒十粒赤小豆十粒粉し一痛齒ふつけしは 救急易方

又方焙房山椒貝灰より細くすくべし一炙りて水まで炙り
すくべし同 治法彙

瘰癧

杏仁を焼研す一髪毛よりすくべし瘰癧の皮にいじたりべし

又方銀朱を生炙りて一つ二つ合後小かきすくべし同

又方蘇を焼灰し一焙房からく炙りて水まで炙り
すくべし同

又方松脂灰虫歯の皮よりすくべし一炙りて水まで炙り
すくべし同

又方乳香山椒等分粉し一痛齒をぬりて虫歯の孔に塞ぎてよ
すくべし同

又方山椒炒りて水をかき一焙房焼等分粉し一炙りて水まで炙り
すくべし同 治法彙

又方甘草灰水まで洗ひて炙りて水まで炙り
すくべし同 衛生易簡方

又方甘草灰水まで洗ひて炙りて水まで炙り
すくべし同

又方南星の粉を虫歯の皮よりすくべし一炙りて水まで炙り
すくべし同

又方南星の粉を虫歯の皮よりすくべし一炙りて水まで炙り
すくべし同

又方南星の粉を虫歯の皮よりすくべし一炙りて水まで炙り
すくべし同

又方南星の粉を虫歯の皮よりすくべし一炙りて水まで炙り
すくべし同

又方 薑炭仁の根皮を三寸五分六分の煮くはあつて冷た
吐せしむ一 炭皮もあつてよく一 同

又方 枸杞の根の白皮をすり粉して炭ト合じ一 同

又方 山椒を粉し一 白麩をかきまぜ大豆の又きたれト合
く焼熱せしむ一 炭ト合じ一 同

又方 山椒を粉し一 炭ト合じ一 同

又方 山椒を粉し一 炭ト合じ一 同

又方 山椒を粉し一 炭ト合じ一 同

一月程あつてよく歯する一 同

又方 山椒を粉し一 炭ト合じ一 同

又方 山椒を粉し一 炭ト合じ一 同

又方 山椒を粉し一 炭ト合じ一 同

又方 山椒を粉し一 炭ト合じ一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

又方 苦瓠の子一合に水一升のれと合し炭トつめ合し
よく一 炭皮もあつてよく一 同

本草綱目

普文類方 卷之二十一

白朮根ありて煮て煎じて汁を飲むとす
 歯の肉が腫れ痛むとす
 烏臼の草を二枚みちつて山椒細辛をみちつて粉にして少づて
 歯の内側に付けば自然と脱れるなり
 牙齦

歯ぐき

杏仁の皮と煮りて灰より塩一ふりみちつて煮て煎じ
 味を好むとす

牙齦

牛蒡の根をみちつて煮て汁を煮たり塩一ふりれ煮て膏に
 一歯ぐきを塗りて之を好むとす
 又方年を裁つる糟づけの茹多の皮を煮て粉にして歯
 ぐきに塗りて之を好むとす

本草綱目

又方青蒿をみちつて煮て口中に含むとす

又方胡麻一合に水二合を煮一合を煮て煎じ

吐物に一歯ぐきを塗りて之を好むとす

又方瓦屋の上をみちつて煮て煎じ

漱

風癩

又方馬齒莧を嚼き汁を含むとす

又方荔枝の皮を煮て煎じ

又方又倍多の糖を粉にして歯ぐきに塗りて之を好むとす

又方松葉の皮を煮て煎じ

又方松葉の皮を煮て煎じ

同

又方松葉を焼粉にして少づて酒に溶かして飲むとす

齒銀の肉にけりし歯の根ありしに

毎日換湯小塩水に合して百遍をうりておろししを同

越毒して歯ぐき肉にけりし歯の根を治すに

屋柱をみちく煮て塩少々入れかきませ口中みちく煮て

又方板鴨糞灰をみちく移り火にて焼く粉小志を猪脂

同換りて水に歯銀を付べり衛生易簡方

丁香一匁射干一匁麝香少々をり研すの歯銀に擦りて

蟹を合し歯ぐき腫肉を治すに

生地黄の汁を煮りしり臭灰をひいて火にて炙りまじ

たし炙りし粉を以て粉ぬり衛生易簡方

牙銀を以て臭灰を以て

芥菜葉を以て焼研す粉を以て付て金銀一匁

牙銀の根より血を以てやみん法中に歯の根すこむ

又方百草を以て歯ぐきに塗る

又方又倍子灰やま粉を以て付て

又方香退紙を以て灰より歯ぐきに擦りて

又方槐花荊芥穂を分粉めて付て

又方爵金白芷細辛等分粉めて付て

又方馬牙府の歯ぐきに付たれ

一遍おろしを以て血を以て臭く甚く



普救類方 卷之二十一

魁蛤の殼年経らる瓜すり火にて煨研にひくき煨と三
度よりく粉より付くより本草綱目

又方大なる御鱗をいそまき切き腸瓜すりそ肉(當歸の粉を
つらばりて色こら火小く焼く)を去る御をつき粉より

煨瓜やさとの粉より攪まき歯に付くより同

又方又倍子炒焦きそを白朮五分荆芥五分粉より先塩湯
にて瓜液をこして後之の薬液ありより同

又方新わら一さ肉瓜すり黄蘗皮やき粉より多分使て
とき牙ぐらに付くより同

又方山梔子穰を去白朮瓜内すりつらまきえと
付く治法彙 衛生易簡方

咽喉之部

咽喉腫痛

咽喉腫痛

生艾を搗けをちりり或は生艾葉をこり
醋にけれ搗くより咽喉腫痛 本草綱目

又方白朮を醋あり腫る喉のかにありてより同

又方益母草瓜搗くより水にれ再び搗けをちりり同
りん飲く合物と吐出てより冬は益母草の粉を用

ひくより同
又方乾きる紅毛をちりり搗くよりけをちり

飲く治法彙
又方甘草を水不煮く飲くより又ハ桔梗を加る易方
又方甘草白朮粉よりみみ許口にあく津より嚙下

衛生易簡方

咽喉にむす

商陸の根皮をさきと炙乾し咽喉のうへ紙をあてさうらう

煎てよく冷れぬ熱しころ瓜をかくと炙べし同

咽喉に腫れ飲食通じざらふ

黄蘗を粉し一踏みくきた喉の布につけさうらう 本草綱目

又方磁石を炙すもつづ 喉の布は塗別よ一ひき焼く

かきまぜあてさうらう 蜜方をくり入るまぜのまてさうらう 同

喉痺

喉痺の肉餅を喉に貼るさうらう 飲食は通せし呼吸をさぬさげ

急は治せざれば危き病なり

雀の屎をりころ紙二十粒さうらう 砂糖をかきまぜ丸ど三粒

一粒を綿につくはよくつけを嚥ぶ金べし 同

勢つよく志を愈ぬる二粒煎てさうらう 本草綱目

又方芥子紙粉しころあて移り喉の布につけし乾けを

付くさうらう 同

又方絲瓜の根皮をさきと炙乾しころ瓜をかくと炙べし 同

又方白芥子をすり粉しころ喉に貼るさうらう 治法彙

又方朴硝の粉を管して喉の中へ吹くまてさうらう 得効方

又方附子皮をさきと炙乾しころ瓜をかくと炙べし 同

又方附子皮をさきと炙乾しころ瓜をかくと炙べし 同

又方附子皮をさきと炙乾しころ瓜をかくと炙べし 同

又方附子皮をさきと炙乾しころ瓜をかくと炙べし 同

又方附子皮をさきと炙乾しころ瓜をかくと炙べし 同

喉痺をさうらう 息を通じさうらう

商陸の根灰うすくすり硝子ぬぐいし粉を喉の外に傳はす同
又方射干の根灰一片かきこらけをちんと飲さす同
よー同

又方紅毛を搗けをちかりを熱し一薄のまて用はし
を片乾くろく灰水ぬぐいし粉をちかりしり煎す
のまてよー同

又方乾燥を火より焼く煙灰ぬぐいし同
又方巴豆皮灰より後してむすびきも喉のむすびき同
權喉風ハ咽候大下候喉の外まてを腫く息あきかんとす灰

乾灰灰多り當候しちかんに一固く粉し一ぬぐいし酒を
かきこをぬぐいし喉の外すかいら粉ぬぐいしぬぐいし同
又方蒼耳子すま古根生薬一塊用し一搗けをちかり酒を

入授まて銀一ー同

又方蛇吐子灰やまを煙灰ぬぐいし一傳信尤易方

又方皂莢を水にいきてすりてを喉に灌げれば衛生易方
又方白朮を巴豆よりかきぬぐいし先白朮を土器にいきて煮く
ぬぐいし一を中一巴豆をいれ煮く火よりおろし一白朮かハ

まて後巴豆灰より白朮汁をすり粉めし一ておろし
にのこ喉をぬぐいし一暴證知要
帝鐘喉風の喉の肉腫て垂せしとす守をり息の出入候

あまごをり
塩灰焼咽れ後する灰をりに付れ肉の腫ひをぬぐいし
なり本草綱目

急喉痺ハ喉腫れぬぐいしと玉極急かろりしを中治せざれば
息とくと死するものなり

玄参一匁 牛蒡子一匁 づまらハ粉半分ハ糖を粉
水にて飲べー 同

又方 苳麻仁四粒 紙をぬり 擗き 火灰と合し

を烟して 香灰とす 同

又方 燈臺内のこがし 海の沖に叩き 同

ものも 同

懸癰の喉の孔のふた 猪油をまじり 腫れをさぐり 同

牛蒡子 紙抄生地黄 羊骨を炙り 同

又方 羊蹄 羊骨を炙り 同

又方 白参 瓜を炙り 同

又方 倍子 白僵蚕 甘多を粉し 梅干の肉を搗き 同

把の核の大きさを九ド 瓜を炙り 同

又方 乾姜 羊骨を粉し 同

骨鯁

魚の骨を煮て 骨を煮て 同

白芷 羊骨を粉し 同

又方 鯉魚脊の鱗を炙り 同

又方 骨を炙り 同

又方 皂莢の殻を粉し 同

又方 骨を炙り 同

又方 白鳳仙花の皮を炙り 同

又方 骨を炙り 同

又方 骨を炙り 同

骨の根皮かきとらうしきけを飲ひ骨おのづからなるなり但
用ゆる時齒ふあてとらるやうに煮べしとらるるんば齒を根
ずるものかり用て後を争らるるとは根漱ぐべし根を吞
るふとより同

又方苦瓜を煮て汁をさげさきまにかり股の骨をさるやう
にすれをおのづから鯉扱あるなり或は咽にちるべし 肘後備急方
濕り根を吞く咽にかりとらる

烏芋をすりけをきぼりすりおづつ押さより根自然小
化しとらるるとかりとらる 本草綱目

又方艾を洗ひ炙りて飲ひ根おのづから下りかり同

又方胡桃の肉皮多く合すべし同

又方綠豆粉を煮てとらるるとは飲べし同

又方燒炭を粉とらるるとは飲べし 肘後備急方

又方參朮おろくのこを煮より魚骨の骨とらるるとは同
或は石とらるるとは骨軟くとも吞く咽にかりとらる

五不留行黄蘗を粉とらるるとは糊して移り枇杷の核の大き
丸と青黛を煮ふと風のあつたふと和さかりかり

とらるるとは玉とらるるとは用ゆる時小のぞと右の丸茶一粒皮冷水と研
とらるるとはけを飲べし 衛生易簡方

濕り鋼鉄をのこ咽にかりとらる

又南燭の根皮燒粉とらるるとは一盃熱湯ふかきとらるるとは
或は金銀の粉をのこ腹中へ入るとは 本草綱目

石炭を煮後の大き粒磁黄を皂莢子の大き粒二味研粉とら
ゆにかきとらるるとは 肘後備急方

令根の粉を吞く咽にかりとらる
炭灰燒粉とらるるとは搗く細くとらるるとは 彙聚單方

同上

咽喉のど熱あつしむむ

龍膽りゅうたうの根ね灰はい搗たき水みづをまくのむべー同

熱あつをあて咽いしむべー同

小便せうべんをあくしむべー同

小児せうに咽のど後ごろろた

牛蒡ごうりやう根ね灰はい搗たきけをまろり飲せしむべー同

又方杏仁ぎんぎんを炒まくし研つぶぎけを飲てしむべー同

咽喉のど細こまからるものあま後いしむべー同

蕪荊わじやうの根灰はい搗たきよいしすことま日しても内をあくしむべー同

又方薏苡仁ぎいぎい二粒にのとししむべー同

又方蓖麻子へちまこ一粒ひと朴硝ぼくせう一た同トく研吸くそのあまを飲下す

べーあまろりに三さん服ふくのとししむべー同

又方薔薇根げいぎんをあまろりしむべー同

いま再またび煮つらぬのあま傳でんをしむべー同

痰たんをあまろりしむべー同

白馬はくばの小便べんを飲てしむべー同

小児せうに咽のどの中に豆やどのおゆまを飲てしむべー同

葛くわの蔓を焼へしむべー同

滴たきぐらいしむべー同

烟けりにむせび死しかんとすりた

蘿蔔ごうぼくのけを飲てしむべー同

醋心さくしん

酸心さんしんの酸水すい咽のどをしむべー同

酸心さんしんの酸水すい咽のどをしむべー同

普救頭方

一

呉茱萸二匁炙目に一盃水一盃煎下本草綱目
又方胡桃肉を煎て生薑湯にて飲下す同
又方柘柳十匁陳皮五匁粉一匁同
をわいせかきませのそとより肘後備急方

聲

多うんくおざりた

蘿蔔のけし生薑のけしをわいせかきませ飲本草綱目
又方杏仁皮灰より熱黄同
又方槐実皮粉同
又方青黛為荷を粉煉蜜
行ん丸同

又方皂莢一匁粗皮とみり衛生易簡方

風又同

蕪荷の根二十匁粉同

卒同

陳皮二匁炙目同

又方苦竹の葉を炙同

卒同

酒同

取之部

耳鳴

耳の中常に鳴り止むるに

生乾黄芩根切炙らるる耳の中へさしこみ敷く一宿をた

くくより同

又方骨碎補を削り火を焼く一耳の孔へさかしてより同

又方烏沈を焼く一耳の孔へさかしてより同

又方生の烏沈根切炙らるる耳の中へさしこみ敷く一宿をた

又方石菖蒲根切炙らるる耳の中へさしこみ敷く一宿をた

又方石菖蒲根切炙らるる耳の中へさしこみ敷く一宿をた

又方石菖蒲根切炙らるる耳の中へさしこみ敷く一宿をた

又方石菖蒲根切炙らるる耳の中へさしこみ敷く一宿をた

風邪よわたり耳鳴るに

塩豆五升り炒りて一袋にいしき耳をあて枕しんじんを
炭皮を焼く一耳の孔へさかしてより同

耳聾

耳聾とくさへきるに

龜の尻皮とり耳の中へさかしてより同

又方石菖蒲根切炙らるる耳の中へさしこみ敷く一宿をた

又方松脂丸を巴豆と搗き綿につく一耳の中へさかしてより同

又方松脂丸を巴豆と搗き綿につく一耳の中へさかしてより同

又方蒼朮一塊を七分行く一上方一切年より下の

くく細く削り耳の中へさかしてより同

又方或は七枚を十行わたり耳の中へさかしてより同

又方或は七枚を十行わたり耳の中へさかしてより同

衛生易簡方

中身をかきあげて水に洗ひて同
又方杏仁を炒りて搗きとらへて綿ふつて耳の内
にさしこむとよく同 肘後備急方
又方石菖蒲を粉とらへて炒りて綿ふつて耳の内(裏)に
さしこむとよく同 衛生易簡方

又方石菖蒲附子を粉とらへて烏麻の油に炒りて耳の
内(裏)にさしこむとよく同 肘後備急方

耳卒にいさむ

枕をわきまき粉とらへて敷いて耳に吹く
又方塩豆を炒りて粉とらへて耳に吹く
又方黄芩の粉を耳の中へ吹く
又方青皮を粉とらへて耳の中へ吹く
又方倍子を粉とらへて耳の中へ吹く
又方樟脳を粉とらへて耳の中へ吹く
又方薄荷を粉とらへて耳の中へ吹く
又方桑葉を粉とらへて耳の中へ吹く
又方薄荷を粉とらへて耳の中へ吹く
又方薄荷を粉とらへて耳の中へ吹く

聾耳

聾耳の耳の中より臭いけをわきまき粉とらへて敷いて耳に吹く
又方薄荷を粉とらへて耳の中へ吹く
又方薄荷を粉とらへて耳の中へ吹く
又方薄荷を粉とらへて耳の中へ吹く

をわり

伏龍肝を粉とらへて敷いて耳に吹く
又方蜈蚣を炙りて粉とらへて耳に吹く
又方蒲黄の粉を耳の中へ吹く
又方青皮を粉とらへて耳の中へ吹く
又方倍子を粉とらへて耳の中へ吹く
又方樟脳を粉とらへて耳の中へ吹く
又方薄荷を粉とらへて耳の中へ吹く
又方薄荷を粉とらへて耳の中へ吹く
又方薄荷を粉とらへて耳の中へ吹く

聾耳にいさむ

蛭刺を葱葉にさらして化して水に洗ひて
身の中へ滴しこむとよく同

耳腫

耳卒にいさむ

苦楝子核灰より搗くからし綿ふつこ耳本草綱目
又方生の商陸の根灰けつり細くし耳の肉をさしこす
一日二度さすくよう同

耳卒に腫むる

牛蒡の根を搗けを布り儼小のき敷く膏ふし耳を

ぬりてよう同

耳卒に腫く膿づる

白炭灰焼粉し竹箆して耳の内をけりし或は猪小

つこ耳の中へあせだくよう肘後備急方

耳瘡

耳の内へ細かなる瘡を来す痛され或凍瘡を来す瘡と

つこりやと

五倍子を粉し冷みよそと紀ぬりてよう本草綱目

又方粉よそてあつてよう本草綱目

又方枸杞の根をみに煎じあせよ同

又方芙蓉二名を歯莖にま粉し付くよう耳の内を

瘡を来すふい太の葉灰を厚一粉やど消すつこ耳の内

あせよそてよう傳信尤易方

又方貝母を粉し付くよう衆妙方

又方寒をみよそ瘡にあせよ同備急良方

耳の後或は耳の根に細かなる瘡を来す痛くは

枸杞根皮を粉し生油少くとさ先地骨皮灰をよそ

瘡にかけして耳をあせひてぬ太の葉を粉し

瘡よりあせよそ瘡に付くよう本草綱目

月蝕耳瘡耳の毛を細かなるものを来念ていませすあり

十六夜は兎の屎より椒麩の肢の中へ焼く粉は

付くようー同

又方龜甲を焼灰し付くようー同

又方白粉を土まぜ傳てようー同

又方黃連灰粉し傳てようー同

虫入耳

何れも虫耳小入るる

桃の葉灰もして耳に塞ぐー或は桃葉を搗けをり耳

小滴くようー本草綱目

又方生薑汁をり耳の中へまごて入れくようー同

又方乳けを耳に滴りれくようー同

又方韭の汁を耳に滴りてくようー同

又方虫たの耳小入るる付はまきく木の耳をまきびく

ぎ身灰つりく洗くたの耳小出りやうにすべー虫おのづ

出るー木の耳小入るるはた灰室にすべー傳信尤易方

又方好酒灰耳小灌りまきくく歩ゆすれば虫おれくく出

べー肘後備急方

又方蒼耳葉灰杵そのけをせり耳に灌りれくく衛生易簡方

軸捻耳小入るる

小蒜を搗けをり耳の内へまごて今くようー一遍して出

おんやうの備りるるー本草綱目

又方胡麻灰炒研り袋の内へまき耳をつけ梳くして同

又方飯酢を葱の葉の内へ入れおげバ化けく水となるありそ

め灰耳の中へまごてりまきバ軸捻化けてまとなるるー同

又方醋灰耳の内へまごてりまきバ軸捻化けてまとなるるー同

のづくくおんやうー同

又方生油灰葉しつり餅のどくく梳くーバ軸捻お

のづろくわー 肘後備急方

粗末耳よりつらるに

杏仁を搗らるし 汁液をかりたり 耳の中へ滴つる也

粗末より出さるる耳の中より死するものなり 本草綱目

又方 綠豆粉より 耳の中へ滴してより 同

穢耳よりつらるに

破故年の内へそとせしきをまろくすれり 穢おのり

くくわー 同

又方 穿山甲粉より 耳の中へ滴してより 同

くくわー 肘後備急方

蚤虱など耳よりつらるに

葛蒲の根を炒りて 袋裏に封じて 耳の中へ滴してより 同

本草綱目

飛蟻耳に入らるに

蜜けを耳の内へそとせしきより 衛生易簡方

又方 細品紙耳の傍にかけより 同

水耳よりつらるに

海桐を搗けて 耳の中へ滴してより 本草綱目

水濕耳よりつらるに

合依耳よりあて搗きより 同

耳出血

耳中より血づるに

蒲黃紙抄より 耳の中へ吹してより 同

又方 龍骨紙粉より 耳の中へ吹してより 同

耳後より血出るに

柳木の皮の葉を炒りて 耳の中へ吹してより 同

大蔞^{おかしら}切^{きり}片^{ひら}と^と足^{あし}の^の心^{こころ}不^ふ貼^貼と^と一^一 本草綱目

又方^{また}藕^{くわ}節^{せつ}と^と川^{かわ}芎^{こう}藎^{じやう}と^と瓜^か蒂^{てい}と^と粉^{こな}と^と一^一多^たづ^づ飯^{いひ}の^の湯^ゆ不^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

又方^{また}蒼^{そう}耳^じ子^しを^を粉^{こな}と^と一^一二^二多^たづ^づ白^{しろ}湯^ゆと^と用^{もち}也^{なり}同

又方^{また}茄^か蒂^{てい}を^を焼^{やく}と^と一^一粉^{こな}と^と一^一多^たづ^づ鼻^びの中^{ちゆう}に^に吹^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

又方^{また}辛^{しん}夷^い一^一多^た蒼^{そう}耳^じ子^し炒^{ちやう}と^と一^一多^たづ^づ白^{しろ}芷^し二^二多^たづ^づ蔞^{らん}一^一分^{ぶん}粉^{こな}不^ふ葱^{そう}二^二多^たづ^づ湯^ゆと^と一^一多^たづ^づ度^たと^と一^一多^たづ^づ用^{もち}也^{なり}同

鼻^び淵^{えん}膿^{のう}血^{けつ}を^を取^とれと^と一^一 貝^{かい}子^し灰^{かい}燒^{やく}粉^{こな}と^と一^一多^たづ^づ酒^{しゆ}と^と一^一多^たづ^づ用^{もち}也^{なり}同

鼻^び清^{せい}涕^{てい}を^を流^{なが}しと^と一^一多^たづ^づ止^{とど}めと^と一^一 華^け粉^{こな}と^と一^一鼻^びの中^{ちゆう}に^に吹^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

又方^{また}杏^{きやう}仁^{にん}二^二分^{ぶん}附^ぶ子^し二^二分^{ぶん}細^{さい}辛^{しん}一^一分^{ぶん}三^{さん}味^み粉^{こな}と^と一^一多^たづ^づ硫^{りゆう}石^{せき}を^を粉^{こな}と^と一^一多^たづ^づ用^{もち}也^{なり}同

猪^ぶ脂^じと^と一^一多^たづ^づ膏^{かう}の^のと^と一^一多^たづ^づ鼻^びの中^{ちゆう}に^に吹^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

鼻^びの中^{ちゆう}に^に吹^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

又方^{また}細^{さい}辛^{しん}を^を粉^{こな}と^と一^一多^たづ^づ鼻^びの中^{ちゆう}に^に吹^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

又方^{また}苦^く瓠^こ子^し瓜^か蒂^{てい}等^{とう}を^を粉^{こな}と^と一^一多^たづ^づ鼻^びの中^{ちゆう}に^に吹^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

又方^{また}龍^{りゆう}腦^{のう}を^を粉^{こな}と^と一^一多^たづ^づ鼻^びの中^{ちゆう}に^に吹^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

又方^{また}白^{しろ}朮^じの^の粉^{こな}を^を粉^{こな}と^と一^一多^たづ^づ鼻^びの中^{ちゆう}に^に吹^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

又方^{また}蔞^{らん}子^し途^と中^{ちゆう}の^のと^と一^一多^たづ^づ鼻^びの中^{ちゆう}に^に吹^ふと^と用^{もち}也^{なり}同

おのづからかきこみかきこみ同

酒瘡鼻

鼻の肉に瘡出まらるるに

凌霄花山梔子等分粉すこし一たび湯で用ひ

又方銀杏と酒糟と灰ひよりの汁をこきぬき酒に鼻に

ぬりぬれぬるはすべし同

又方塩漬炭にかりてすべし同

又方硫黄白朮等を粉すこし黄丹すこしをすりいき唾すこしを

塗すべし同

又方杏仁をすりこぼらし卵子れ白とすこし神り夜ふりす

鼻にぬりぬれぬるはすべし同

又方檳榔を焼灰すこし先米汁すこし楡の葉を煮つけすこし

ぬりぬれぬるはすべし同

酒瘡鼻の内いさむ

白朮すこし葛麻子すこし梅干の肉すこし麝香すこしを同す

杵合せぬりぬれぬるはすべし同

鼻の内いさむ

硫黄を粉すこし冷水すこしを傳すべし同

鼻の内いさむ

又方鼻の内いさむ

鼻瘡

鼻の内いさむ

桃葉瓜蒌すこし鼻の孔すこしを同す

又方玄参紙粉すこしぬりぬれぬるはすべし同

又方鼻の孔すこしを同す

又方百部等細の粉すこし冷水すこしを同す

又方瓜蒂細辛粉一綿二又つ三鼻をかき四又方杏仁一研二乳三け四又方牛骨一約骨二煨三又方

鼻の一猪二油三也四末五然六わ七臭八と九去一〇又方

苦参一又白二卷三一四又生五地六黄七氏八梓九又方

分一行二又三目四一五盃六い七き八黄九ト一〇又方

備一の二れ三又方

又方又黄一杏二仁三搗四之五破六脂七又方

又方牛骨一約骨二煨三又方猪一脂二又方

普救類方卷之一下 畢



